

全国初の新幹線との併用橋「新九頭竜橋」が開通



10月22日、福井市と坂井市を南北に結ぶ、一般県道福井森田丸岡線の「新九頭竜橋」が開通しました。全国でも初となる道路と新幹線の併用橋で、橋の中央を新幹線の線路、その両側に2車線の車道が通っています。新九頭竜橋の開通により、交通渋滞の緩和と物流や交流の活性化などが期待されます。

開通に合わせて「新九頭竜橋開通メモリアルラン」も開催されました。新九頭竜橋は令和6年3月31日開催予定の「ふくい桜マラソン」のコースにもなっており、そのコースを一足先に体感できるまたとない機会に、多くの方が参加し、真新しい橋からの風景を楽しみながら、それぞれのペースで駆け抜けました。

学んで実践へ！ 福井県SDGsパートナーシップ会議 フォーラム2022開催



SDGsのさらなる推進に向け、県が新たに設定した普及啓発月間「ジュナナ・チャレンジ」。9～10月の2か月間、ふくいSDGsパートナー登録企業・団体が、県内各地でSDGsのイベントを行いました。

その一環として、10月18日に県生活学習館でSDGsフォーラムを開催。約130人（オンライン含む）が参加しました。三洋化成工業株式会社（京都市）の安藤孝夫会長が持続可能な社会の実現に向けた挑戦について講演したほか、パートナー企業が商品開発や社内浸透などの事例を発表。参加者からは質問が相次ぎ、活発な意見交換が行われました。

第24回全国農業担い手サミットinふくい開催 みんなで描こう！農業の未来地図 ～ふくいで語り、つなげよう担い手ネットワーク～



10月20、21日に、「第24回全国農業担い手サミットinふくい」が県内で開催され、全国から約1600人の認定農業者などが参加しました。サンドーム福井で開催された20日の全体会には寛仁親王妃信子さまが御臨席され、あいさつされました。また、県内若手農業者らによるパネルトークや全国優良経営体の表彰式も行われました。21日には県内6地域で現地研修会が開催され、参加者は先進的な営農の取り組みを視察しました。

県では今後も、「ふくい園芸カレッジ」による新規就農者の育成やスマート農業の推進による農作業の効率化、省力化を進めるなど、農業の担い手確保を行っていきます。